

学校だより 「花里の子」

令和7年度 第9号 (令和7年8月28日)

伊丹市立花里小学校長 小木曾 笑子

ピンチは、チャンスと考えよう!!

40日間の夏休みを終え、子どもたちが学校に戻ってきました。体が一回り大きくなり、たくましさを感じたように感じます。夏休み中の自習室にもたくさんの子どもたちが参加し、一生懸命に宿題に取り組む様子がみられました。また、スポーツや音楽の分野で頑張っている様子も伝わってきました。2学期には、運動会や音楽会などたくさんの行事があります。いろいろな場面で「笑顔いっぱい、やさしさいっぱい、チャレンジいっぱい」頑張る花里の子の姿を見せてくれることを期待しています。

始業式では、『大ピンチずかん2』(作:鈴木のりたけ 小学館)を紹介しました。子どもたちの生活に起こりうる様々なピンチが紹介されています。3巻ありますが、2巻では、「大ピンチグラフ」を使ってピンチの度合いが表現されています。各ピンチへの具体的な対処法や似たピンチ、ピンチから派生するさらなるピンチも解説されています。大ピンチを「知る」ことで、子どもたちにピンチを恐れず、心の準備をすることの大切さを教えてくれる本です。

『大ピンチずかん2』の最後は、「こころのなかのじぶんのきもちはきつとじぶんでかえられる。そう。大ピンチなんてこわくない!」とまとめられています。

私は、夏休み中に阪神タイガースの元監督 矢野燿大さんの講演を聞きました。講演の中で、「心×行動が結果となる。」と仰っていました。「ものの見方、考え方を換えれば、未来は変わる」とも。ピンチの時に悪い結果ばかり考えていると、ピンチが大ピンチになってしまうということでしょうか?『大ピンチずかん2』と矢野燿大さんの言葉に共通するものを感じています。「失敗するかも」「できないかも」ではなく、自分を信じ、ポジティブに「できるかも」という考え方で行動することが、自分を成長させるのだと思います。花里の子には、「ピンチを大ピンチ」に変えるのではなく、「ピンチは、チャンス」と考え、失敗を恐れずに「チャレンジいっぱい」の学校生活を送って欲しいと思います。

「みんなは、自分が思っている以上に素敵で素晴らしい人です。」と伝え、始業式のお話としました。2学期も、引き続き「ONE HANASATOの協育」へのご協力をお願いいたします。



新しい先生を紹介します!

かがやき教室の介助員と英語のALTに変更がありましたので、お知らせいたします。



【速報】全国学力・学習状況調査の結果

4月17日に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が返ってきましたので、その概要をお知らせいたします。なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一つの側面です。

- 1 対象 6年生
- 2 調査 「学力に関する調査(国語・算数・理科)」と「学習状況に関する調査」
- 3 調査結果の概要
 - (1) 学力に関する調査 (正答率：受検者に対する正答した児童の割合)

教科	全体の正答率	結 果
国語	ほぼ全国平均並み	○漢字の書き取りは、全校平均並み ●話し手の考えと比べて、自分の考えをまとめることに課題 ●目的に応じて、必要な情報を見つけることに課題
算数	ほぼ全国平均並み	○図形領域の問題の正答率は全国平均以上 ●2次元の表から条件に合う項目を選ぶことに課題 ●角の大きさの理解に課題
理科	全国平均を下回る	●知識・技能の問題に課題 ●特に「粒子」「生命」の領域に課題 ●電磁石の強さは巻数によって変わることを理解に課題

* 3教科とも、記述問題で無答率が高くなっています。

(2) 学習状況に関する調査

生活習慣	○朝食を毎日食べている児童の割合は、90%以上。ここ数年微増 ○毎日同じくらいの時間に起きている児童の割合は、80%以上 ●毎日同じくらいに寝ていると強い肯定的回答の児童の割合は、30%以下
学習習慣	○平日は、1日1時間以上学習する児童が60%以上 ○平日は、1日30分以上読書する児童の割合は、約40% ●自分で学び方を考え、工夫することに課題
自己肯定感	○自分には、良いところがあると肯定的に回答した児童は90%以上 ○将来の夢や目標をもっていると肯定的に回答した児童は90%以上 ●学校に行くのが楽しいと肯定的に回答した児童は、約75% ●地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童は80%未満

下の問題は、本校の子どもたちの正答率が低かった算数の問題です。正解は、「ウ」ですが、誤答の多くは、「エ」を選んでいました。正解することも大切ですが、さまざまな考え方から、自分の答えの根拠を説明できるよう、子どもたちの「考える力」を高めていきたいです。

今後、学力・学習状況結果を分析し、本校が取り組むべき方策を「学力向上プラン」としてまとめて、10月中旬頃にお知らせする予定です。

(3) わかなさんは、図1の⑥の角と図2の⑦の角の大きさを比べています。

図2の⑦の角をつくっている2つの辺は、図1の⑥の角の2つの辺をそれぞれ伸ばしたものです。



図1

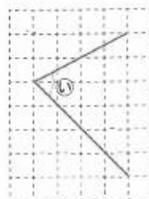


図2

⑥の角と⑦の角の大きさについて、どのようなことがわかりますか。下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア ⑥の角の大きさのほうが大きい。
- イ ⑦の角の大きさのほうが大きい。
- ウ ⑥の角と⑦の角の大きさは等しい。
- エ ⑥の角と⑦の角の大きさがわからないので、このままでは比べることができない。